

令和5年度 茨城県地域日本語教育の体制づくり事業  
基礎日本語教育人材の養成研修 募集要項

Ⅰ 研修について

(1) 目的

茨城県には約 8 万人の外国人が暮らしています(昨年末時点)。都道府県別で第 10 位の人数で、今後さらに増加する見込みです。これら外国人と日本語でのコミュニケーションを通して、外国人・日本人を問わず全ての県民が安心・安全な生活ができることを、地域日本語教育の体制づくりとして目指しています。今年度新たに“生活者としての外国人”で日本語に通じない人を対象に基礎日本語教育を行います。本研修は将来的にその担い手となっていただく県内在住の日本語教師人材の養成を行うものです。

(2) 主催

茨城県、公益財団法人茨城県国際交流協会(茨城県からの受託事業)

(3) 参加対象

以下の両方を満たす方。

- ①茨城県在住の日本語教師\*
- ②日本語学校及び各種専門学校、大学等の教育機関で、十分な教育実践経験(目安:3年以上の日本語教育歴)のある方

※日本語教師について

下記ア～ウのいずれかに当てはまる方とします。

- ア 大学又は大学院において日本語教育に関する課程を修了した者
- イ 日本語教育能力検定試験に合格した者
- ウ 学士の学位を有し、かつ日本語教育に関する研修として適当と認められるものを 420 単位時間以上受講し修了した者

(4) 特徴

一方的な講義による知識提供ではありません。研修を通し、日本語教師としての専門性をもとに、地域日本語教育の課題発見とそれを解決する方法について理解します。他の参加者、研修講師などとチームになり、意見交換や検討を行います。

(5) 実施方法

- ① 研修講義は基本的に zoom オンラインです。(6)スケジュール及び内容(予定)に示す日時でライブ開催します。事前動画「有」の回は、オンデマンドによる30分程度の事前動画視聴をしていただきます。
- ② 最終講義は対面開催です。
- ③ 参加者は、この研修期間中並行して開催されるモデルコース\*<sup>1</sup>で、講師補助及び講師\*<sup>2</sup>を体験します。

※1 モデルコース:既に決定している日本語教師が講師を務める外国人向け基礎日本語教育

※2 研修前半に講師補助役、研修後半に講師役の実習を行います。



(6) スケジュール及び内容(予定)

日時	内容(予定)	事前 動画	講師
9/2(土) 13:30~15:30	オリエンテーション (在留外国人の動向、在留資格、県の取組み など)	有	協会
9/17(日) 13:30~15:00	課題研究① (モデルコースに入る前の準備)	/	瀬尾
10/7(土) 13:30~15:30	「多文化共生における日本語教師の役割・生活者としての外国人に対する日本語教育とは」	有	萬浪
10/14(土) 13:30~15:00	課題研究② (課題研究の実践)	/	
10/15(日) 13:30~15:30	地域日本語教育におけるコースデザイン① (生活 can do、コースデザインについて・コースの全体像を考える)	有	井上
10/21(土) 13:30~15:30	地域日本語教育におけるコースデザイン② (1回のコースデザインを考える)	有	山本
10/28(土) 13:30~15:30	課題研究③ (課題研究の進捗確認)	/	瀬尾
11/11(土) 13:30~15:30	「コミュニティデザインによる日本語教室づくり」	有	深江
12/2(土) 13:30~16:30	課題研究④ (課題研究のふりかえり)	/	瀬尾

(講師敬称略)

※12/2(土)は対面開催、それ以外はオンラインです。

※事前動画「有」の回は、オンデマンドによる30分程度の事前動画を視聴していただきます。

※モデルコースでの実習日時は、モデルコースの詳細が決定次第お知らせします。

前半の講師補助実習：10月1日(日)から10月27日(金)までの間(予定)に開催される7回程度のモデルコースから2回以上に参加してください。

後半の講師実習：10月29日(日)から11月26日(日)までの間(予定)に開催される6回程度のモデルコースから2回以上に参加してください。

モデルコースはオンラインと対面の2パターンで開催(学習者がそれぞれ異なります)。都合の良いように参加できます。

(7) 講師(50音順・敬称略)

井上 里鶴 (麗澤大学講師 専門:日本語教育)

瀬尾 匡輝 (茨城大学准教授 専門:日本語教育、教育社会学)

深江 新太郎 (NPO 多文化共生プロジェクト代表、文化庁・地域日本語教育アドバイザー)

萬浪 絵里 (特定非営利活動法人国際活動市民中心(CINGA)理事、(公財)千葉市国際交流協会 地域日本語教育事業コーディネーター)

山本 妙子 (産経ヒューマンラーニング株式会社 講師)

(8) 弘道館アカデミー修了証の発行について

8割以上出席した方には、茨城県弘道館アカデミー修了証を発行予定です。なお、修了証は講座の修了を証するもので、日本語教育の資格等を証するものではありません。

弘道館アカデミーとは [https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/koudoukan\\_academy](https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/koudoukan_academy)

## 2 参加者の募集について

### (1) 募集人数

10名程度

### (2) 参加費

無料（文化庁補助事業のため）

※ただし、「オンライン参加に係るインターネット等の諸経費」、「実習に対面参加するための交通費等」は参加者負担をお願いいたします。

### (3) 参加申し込みの際のお願い

以下の項目に同意の上、お申込みください。

■本講座は録画し、県、当協会、講師、文化庁補助事業の関係者と共有させていただきます。

■配布資料の二次使用、パソコン画面の撮影等は、著作権保護のためご遠慮ください。

■講座の様子を撮影し、個人が特定されない形で事業報告等に使用させていただきます。

### (4) 事前説明会の開催について

内容のご説明と参加者からのご質問等にお答えするため、事前説明会をオンライン開催いたします。

日時：8月19日（土）13:30～14:30 zoom オンライン開催

説明会参加希望の方は、(7) 問い合わせ先に記載のメールアドレスに、件名「事前説明会参加希望」とし、メールでお知らせください。折り返しミーティング ID 等を返信いたします。（締切 8/18（金）正午）

### (5) 研修への参加申し込み

以下の URL から、または QR コードでアクセスし、必要事項を入力して送信ください。

<https://x.gd/Q6FqV>

締め切り 8月23日（水）



### (6) 参加者の決定について

① 本研修の趣旨・お願い事項をご承知の上、原則全日程参加できる方とします。

② 研修終了後、地域日本語教育にかかわる意欲がある方を優先します。

③ 定員を超えた場合、選考により参加者を決定いたします。選考では、上記①と②に加え、申込内容（申込者の地域、実践経験年数等のバランスなど）を総合的に判断いたします。

### (7) 問い合わせ先

（公財）茨城県国際交流協会 担当 仙波（地域日本語教育推進員 出勤日：水・木・金曜 10～16 時）

〒310-0851 水戸市千波町後川 745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 2 階

電話 029-241-1611 FAX 029-241-7611 E-mail: [iia@ia-ibaraki.or.jp](mailto:iia@ia-ibaraki.or.jp)